

三俣町の絆をつなげる

～五個荘三俣町「区民大運動会」～

五個荘三俣町は、人口179人、51世帯、高齢化率は約20.8%で、比較的高齢化率が低い町である。宅地開発により、平成28年（2016年）に造成された23戸すべてが分譲され、新旧住民がほぼ半数ずつとなる中、自治会の「絆」を繋ぐ一つの方法として「三俣区民大運動会」を開催している。

1. 三俣町の「集い」の場

五個荘三俣町（以下、三俣町）では民生委員・児童委員と福祉委員が、毎月1回自治会館で「なごみ会」を催している。

なごみ会は町内のどなたでも参加できる会であり、主にご高齢の10名くらいの方々が参加するおしゃべりを楽しむ「集いの場」である。令和2年（2020）は、しばらくコロナ禍で中止していたが、感染予防対策を行いながら9月から再開した。

また、昔ばなしに登場する「まいらぬ地蔵尊」のお地蔵様の地蔵講は、毎月23日にご高齢の女性たちが催し、「集いの場」となっている。

そして、三俣町の住民が集い、組単位で住民同士が交流を深める機会が「三俣区民大運動会」（以下、運動会）である。

2. 三俣町区民大運動会の概要

三俣町の運動会は、以前は神社で行っていたが、自治会員から田んぼの寄付を受け、自治会で公園を造ることにした。

そして、平成12年（2000）頃からこの公園で運動会を開催している。

開催時期は、稲刈りが終わる10月中頃である。種目は、全員参加のラジオ体操とビンゴを除くと15種目あり、このうち組対抗の種目が9種目である。

三俣町は、9世帯単位1組で全6組ある。1～3組は従来からの世帯で、4組は新旧混在、5～6組は新興住宅の若い世帯である。

組対抗で組が一致団結する。



五個荘三俣町自治会館



美しく整備されたグラウンド



全員でラジオ体操

【組対抗】

- ①アンブレラキャッチ②サイコロリレー
- ③パンでバーン④ロープを使って⑤綱引き
- ⑥灯台下暗し⑦玉入れ⑧運ベピンポン
- ⑨満水リレー

【組対抗以外】

- ①走ってワクワク（小学生未満）②借り物競争（婦人会・子供会）
- ③ホールインワンを狙え（三福会）④輪投げ（三福会・子供会）
- ⑤バケツでポン（三福会・子供会）⑥ストラックアウト

以前は競技性のあるプログラムであったが、今は交流の機会としてレクリエーション的な要素が大きいプログラムとなっている。

例えば「アンブレラキャッチ」というプログラムは、ビニール傘を逆さにして、投げられたボールをキャッチする。キャッチしたボールの数で競うものである。ビンゴゲームは人気があ



輪投げの様子



綱引きの様子

り、このプログラムを狙って参加する人もいるという。

綱引きはハードである。組対抗戦は盛り上がるが身体が疲れる。ただ、この疲れはなぜか心地よい疲れである。

自由に参加できる運動会。

残念ながら去年は台風で、今年はコロナ禍で中止となった。

高齢化が進む一方、新興住宅も多いので、これから小学生の数も増えていく。住民には交替勤務で、日曜日に休みでない方ももちろんいる。だからこそ、全世代・全世帯を対象に町民全体がゆるくつながる、そんな場がより大切になってくるのである。

三俣町の運動会は、自治会の“絆”をつなげる場でありその一つの方法である。

自治会長さんは運動会だけでなく、スポーツや福祉活動等の多様な価値観について、いつでも、どのように、どんなことをしたいのか自治会員の要望や意見をアンケートして検討してはどうかと考えているという。

少しずつでもつながっていく、つながりをつくる。

そんな“財”（たから）を育む取り組みを、三俣町はこれからも続けていく。